



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	語り合う カルト問題 上・下
Author(s)	櫻井, 義秀; Sakurai, Yoshihide; 杉若, 恵亮
Issue Date	2006-12
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/17110">https://hdl.handle.net/2115/17110</a>
Rights	朝日新聞（大阪本社版）夕刊 2006年12月5日・12日掲載。本著作物の著作権は朝日新聞社に帰属します。本著作物は著作権者である朝日新聞社の許可のもとに掲載しております。第三者が朝日新聞社の許可無く内容の全部、又は一部を再転載することを禁じます。（承諾書番号：25-1803）
Type	article
File Information	cult1.pdf, カルト対談上



櫻井義秀、杉若恵亮

「語り合う カルト問題 上」朝日新聞(大阪本社版) 夕刊 2006年12月5日

杉若 若い人と車座の集会を開いたり、ラジオ番組で話したりする機会が多いのですが、いつだったか「お彼岸の中日」と言ったら、「(プロ野球の) 中日ドラゴンズが何かするのですか」と問い返されたことがあります。家庭から仏壇や神棚が無くなり、彼らの親が無関心だから、仕方ない面もあるとは思いますが、それでも。

桜井 そうですね。大学生の意識調査をすると、宗教への不信感がかなり高まっていることがわかります。オウム事件の影響ですね。一方で、血液型判断、姓名判断などの占いをマニャックに信じる人が増えています。スピリチュアル(精神世界)や霊的ものへの関心も高く、テレビに頻繁に出演する人が発言すると、影響力は大きい。

杉若 私の檀信徒でも、霊界のことを話す人がテレビで「お盆のお飾りはこうです」と言うと、どうかなと思うことでも、そっちを信用する。なんだかメディア教という感じがします。

桜井 宗教嫌いの神秘好き、なんでしょう。価値観が大きく揺らいでいる時代に、若い人は、自分がどこへ行ったらいいのかわからない。居場所を探しているのです。そこで「あなたは、そのままのあなたでいい」と、だれかに抱擁してもらいたい。メディアで権威づけられた人であればなおよし。本当の自分を映し出してくれる鏡のような人物と出会いたいのだと思います。

杉若 仕事や、子育て、夫婦の問題に直面して悩む30代の人たちも、はまっていますね。ひところのサイババらインドの聖者ブームを支えたのは30代ですよ。日本の宗教者ではだめなんです。インドの聖者に、ちょっとハグ(抱きしめられる)されるために、わざわざ出かけていく。聖者にハグされることで、今の自分がまるごと認められた気がするのでしょうか。

桜井 たぶん「あなたは世界でオンリーワン」と、権威ある人に言ってもらいたいのだと思います。霊的な能力があるとされる人たちから「あなたの前世はこうです」と言われると、平凡な自分にも特別な物語があって、神秘的な世界につながっている気分にもなれる。占いや予言で、本当の自分が何をしたいのかを示してくれ、自分の可能性を引き出してくれたと信じたいのですよ。実は、その人が考えていそうなことを言うだけなんですけれどね。

杉若 そういえば、私の寺に若い男の子と女の子が来た。ある人に「4代前の先祖がたたっており、12月6日に死ぬ」と予言されたらしい。私が「元気そうやないか。心配しなくてもいい」と言っても納得しないのです。予言されたからには、たたられてないと損したような気分になっているのですね。

桜井 若者の被害でいえば、大学でのカルト教団(\*1)も深刻です。狙っているのは新入生。勧誘は、夏休みまでが勝負だといい、中には合格発表の掲示板の前で「おめでとう。先輩としてアドバイスしてあげる」と近づいてくる教団もある。

杉若 家族から離れ、一人暮らしを始め、まだ真っ白でしょう。そりゃ、染めやすい。

桜井 そこを人間関係で突いてくる。大学の食堂でポツンと夕食を食べているような新

入生は、格好の狙い目です。「話し相手になろう」とか「人生や社会の問題を真剣に考える会があるんだけど」などと、教団であることを隠して近づく。脈があるとなると、教団の集会所などに招き入れ、大歓迎して、ご飯も食べさせる。温かい雰囲気を演出するのです。

杉若 そう。とても温かく受け入れられる感じがするんですよ。実は、私が若いころ付き合った女性がキリスト教系の教団にいて、脱会させようと、その会館に3年間出入りしたことがある。初めて行くと、みんなニコニコして、げた箱には靴を入れてくれ、さあさあこっちはですよと手を引いてくれ、だれもが立ち上がり、よくぞ来てくれましたと握手なんですよ。どこか敷居の高い、伝統仏教のお寺の雰囲気とは正反対でしたね。

桜井 それは教団のマニュアルに従ってやっているだけ。しかも、信者同士がマニュアルを守っているかどうかを監視し合っているのですよ。

杉若 でも、ああして迎えられると、砂漠でレストランにたどり着いた気分になります。

桜井 そこですよ。何の会合なのかわからないけれども、親切にしてくれるこの人とながっていたい、という気持ちにさせる巧妙な手法です。だから、わが身や、わが子、自分たちの学生らをどう守るのかを、真剣に考えないといけないのです。

■\*1 特定の教祖や教義を熱狂的に信じ、しばしば反社会的な活動をする教団を指す。地下鉄サリン事件のオウム真理教のほか、海外では集団自殺・殺人の例もある。布教活動での家族崩壊、治療の拒否、教祖らによる性的暴行、靈感商法など被害は多岐にわたる。全国灵感商法対策弁護士連絡会の集計では、1987年～2005年の灵感商法の被害は26444件、被害額は943億7千万円を超える。